

# 妊産婦健診助成について

(2011年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名	「初回の健診も含め、産前14回、産後1回を無料で受けられるように助成を」の回答
0 愛知県	<p>妊産婦の健診に関する財源は、平成10年度から市町村への地方交付税措置として一般財源化され、各市町村の実情に応じた取り組みがなされてきました。</p> <p>平成21年1月からは地方交付税及び国交付金により、妊産婦健診の公費負担が従来の5回から14回に拡大され、平成21年度からは、すべての市町村で14回の妊婦健診を実施しております。</p> <p>本制度については、平成23年度末までの時限的措置であることから、引き続き円滑に事業を実施できるよう、国へ財源の確保について要望しているところです。</p>
1 名古屋市	<p>本市では、妊婦の経済的負担の軽減を図るため、委託した医療機関で、一定の項目について公費負担で健康診査が受けられる妊婦健康診査を実施しています。</p> <p>平成21年4月から、公費負担の回数を5回から14回に拡充し、国が例示しております検査項目につきましても、順次、公費負担の対象としております。</p> <p>産後健診の公費負担については、多額の経費を要することもあり、今後、国の動向や本市の財政状況などを総合的に見極めながら、慎重に検討してまいりたいと存じますので、ご理解賜りたいと存じます。</p>
2 豊橋市	<p>妊娠届出以降の妊婦健診につきましては、14回まで公費負担の対象としておりますが、検診内容の充実や妊婦1人当たりの受診回数が増などに伴い経費は増大する傾向にあります。妊娠の判定をする初回健診及び産後の健診につきましては、厳しい財政状況の中、現在のところ公費負担をすることは考えておりません。</p>
3 岡崎市	<p>平成21年2月からは、妊婦健診公費負担の回数を7回から14回へ拡大し、里帰り等で県外受診については償還払いで対応し、助産所健診も基本健診分を補助対象としている。妊娠の確定については自己負担であるが、妊婦健診の初回については公費負担としている。また、産婦健診の公費助成については、妊婦健診とは別事業となるため実施は考えていない。</p>
4 一宮市	<p>妊婦健診については、国の補助制度に併せて、妊娠届出以降14回の公費負担を行っています。</p> <p>産婦健診については、生活保護や市民税非課税世帯の方への助成制度を設けています。</p>
5 瀬戸市	<p>平成21年度から妊婦健診の助成回数を14回に拡大したところです。今後の助成拡大につきましては、国の動向や他市の状況等を勘案し、検討していきたいと考えています。</p>
6 半田市	<p>妊婦健診については、初回を含め妊婦健康診査を公費負担で14回実施しています。産婦健診についても、1回分を公費負担しております。</p>
7 春日井市	<p>昨年14回分101,950円から23年度はクラミジア検査やHTLV-1検査等が追加され、費用も106,340円に引き上げ、妊娠出産時の健康管理を図っているところです。</p> <p>産後健診の助成については、今後の動向を見守っていきます。</p>
8 豊川市	<p>妊産婦の健康診査については、産前健診14回分を公費負担としています。産後健診の公費負担は行っておりません。今後の拡充については、近隣市町の実施状況を参考にしながら検討をしていきます。</p>
9 津島市	<p>妊産婦の無料健診につきましては、国の指針に基づき、14回の助成を行っています。今後につきましても、国に方針、また、県、各氏の状況等を把握し検討してまいりたいと考えております。</p>

市町村名	「初回の健診も含め、産前14回、産後1回を無料で受けられるように助成を」の回答
10	<p>碧南市</p> <p>妊産婦健康診査については、国から公費負担の回数及び検査内容について示されています。現在、妊婦健康診査14回分を公費で受診できるよう受診票を交付しています。また、県外などでの健診の受診費用についても償還払いで費用負担がないように対応しています。検査内容については、回数同様、国が示す検査項目を全て適正な時期に検査できるよう、公費助成の対象としています。</p> <p>産後健診については、子どもの1カ月児健診時に同時に行われることで、ほとんどの方が受診され、費用についても大きな負担はない金額と認識しています。</p> <p>妊婦健康診査については、経済的な理由などで健診を受けられないなど、少子化の解消の一助に資するとともに積極的な妊婦健康診査の受診が促され受診状況も改善されるなど、効果のある政策ですが、産後健診については、公費にすることの意義や効果について、今後実施について検討していきます。</p>
11	<p>刈谷市</p> <p>妊産婦健診の受診券は、母子健康手帳と一緒に交付していますので、初回健診には使用できません。現在、妊娠中に14回(子宮頸がん検診含む)、産後1回の受診券を交付しており、県内の医療機関で受診できるよう、県下統一した内容となっています。適正な時期に必要な検査ができるようになっておりますが、無料券ではなく、県で統一した内容の補助券となっています。</p>
12	<p>豊田市</p> <p>※文書回答なし</p>
13	<p>安城市</p> <p>産前14回、産後1回の健診は健診指定項目について無料で受けられるようになっております。現在県医師会に委託し広域化での健診を実施しています。</p>
14	<p>西尾市</p> <p>妊産婦健康診査は、愛知県における標準的な健康審査内容により、妊婦健診14回を実施するとともに、産婦健診1回を公費負担しております。</p>
15	<p>蒲郡市</p> <p>産前14回については、14回の受診券を発行し無料で受診していただけるようにしています。但し、妊娠の有無を確認する初回健診については、国が示している基本的又は標準的な妊婦健康診査の項目に含まれておらず、当市の健診内容に含めていく予定はありません。また産後1回の健診についても無料にする予定はありません。</p>
16	<p>犬山市</p> <p>妊婦検診は、平成21年度から公費負担回数を14回まで拡大実施しています。産婦検診については、国等の動向を注視しながら検討していきます。</p>
17	<p>常滑市</p> <p>平成23年度は、県内市町村と歩調を合わせ、産前14回、産後1回の助成をしていきます。来年度以降については原則、国庫補助があれば23年度と同じ内容で助成していきたいと考えています。</p>
18	<p>江南市</p> <p>妊産婦健診は、産前14回、産後1回を公費助成しております。助成は、医療機関で妊娠届出書の発行を受けた以降の健診分を対象としています。</p>
19	<p>小牧市</p> <p>妊婦の無料健診制度については、平成21年1月27日以降、国の示した健診内容で、14回を実施しております。なお、産後健診については、現在のところ実施する考えはございません。</p>
20	<p>稲沢市</p> <p>妊婦健診については、愛知県内の市町村が足並みそろえて、14回の健診を実施しております。産後健診については、現状でお願いしたい。</p>
21	<p>新城市</p> <p>妊産婦健診については、初回の健診を含めて産前14回実施しております。乳児健康診査も2回実施しております。</p> <p>平成23年度からクラミジアとHTLV-1健診を追加しております。</p>
22	<p>東海市</p> <p>本市では、平成21年度から産前14回について補助を行っております。産後1回の補助については平成19年度から実施しています。</p> <p>公費負担となる健診項目については、県下統一を図っております。</p>
23	<p>大府市</p> <p>本市では、妊婦健康診査14回、産婦健康診査1回及び乳幼児健康診査2回の計17回をすでに公費で実施しております。</p>
24	<p>知多市</p> <p>現在、妊産婦健診として、子宮頸がん健診と、産前に14回、産後1回の健診に対して無料で受診できるよう助成を行っております。また、今年度からは、HTLV-1・クラミジア検査を追加しました。</p>
25	<p>知立市</p> <p>産後診は平成20年4月から、産前の14回は平成21年2月から無料で助成しています。</p>

市町村名	「初回の健診も含め、産前14回、産後1回を無料で受けられるように助成を」の回答
26 尾張旭市	妊婦健診は、現在14回公費負担にて健診を実施しており、平成23年度からは、新たにHTLV-1抗体検査やクラミジア感染検査の項目が追加され、健診内容が充足されております。また産後健診につきましては、今後も厚生労働省が示す考え方等を参考にしながら検討してまいりたいと思っております。
27 高浜市	妊婦健診は14回行っています。
28 岩倉市	平成21年2月から妊婦健康診査の公費負担回数を14回に増やし、現在は14回無料で受けられます。
29 豊明市	妊婦健診の公費負担は子育て支援の観点から、産前14回を実施しています。産後健診については、今後の課題と考えております。
30 日進市	平成21年度から産前14回とし、平成22年度は、子宮がん検診の追加や検査項目の調整を行い、平成23年度は、HTLV-1、クラミジアを追加し、該当項目について無料となるよう実施しています。回数の継続的な確保に努力しています。 産後健診については、現在のところ実施する予定はありません。
31 田原市	産前の健診については、14回受けられるようになっております。産後の健診については、近隣の市の動向に合わせて実施を検討してまいります。
32 愛西市	平成22年度から妊婦健診は14回、無料で受けられるよう助成しています。 なお、産後1回の健診無料化については、現状では予定をしていません。
33 清須市	現在、産前についてのみ14回まで無料としています。初回健診の無料化は考えていません。
34 北名古屋市	平成22年2月から妊婦健診は、14回に拡大しています。国の補助金を受けての実施ですが、将来的には、市の全額持ち出しとなることも踏まえると財源確保が厳しい現時点では、産後健診への補助は、大変難しい現状です。
35 弥富市	名古屋市・豊橋市を除いた愛知県内の市町村は、愛知県医師会の協力のもと県内統一の事業を実施しており、受診券を交付された市民は、県内の産婦人科であれば、市域に関係なく受診券が利用できる大変便利なシステムとなっております。 現在この健診は、初回の健診は含めておりませんが、今後県内の市町村が初回健診を含めることとなれば、当市としても同様の内容で行いたいと考えています。尚、産後健診は行っていないが、乳児に対し2回実施しております。
36 みよし市	※文書回答なし
37 あま市	平成23年度より従来の健診にHTLV-1抗体検査、性器クラミジア感染検査を追加しました。今後につきましても国の指針または、県内市町村の状況を把握し、検討していきます。
38 東郷町	妊産婦健診は、予算の範囲内で実施します。産後1回は考えていません。
39 長久手町	平成21年度から妊婦健診は、14回に拡大しました。
40 豊山町	妊婦健診は14回実施しております。産後健診は実施しておりません。今後妊婦健診の国庫補助の継続が不透明な状況では今後の検討課題となります。
41 大口町	妊婦健診の産前健診の無料回数は14回実施しており、平成23年4月からはHTLV-1とクラミジア抗体検査を追加し、国の示す検査項目を公費補助で拡大をしましたが、産後健診の実施は考えていません。
42 扶桑町	平成21年4月から産前7回を14回に拡大し、原則無料で受診できるようにしています。また、産後検診につきましては、近隣市町の状況をふまえ、今後検討していきたいと思っております。
43 大治町	※文書回答なし
44 蟹江町	厚生労働省の通知に基づき、妊婦健康診査14回、平成23年度から新たにHTLV-1抗体検査、性器クラミジア感染検査も加えて実施しています。
45 飛島村	平成20年度より妊婦健診は産前14回、平成21年度より産後検診1回を無料で受けられるよう助成を行っています。
46 阿久比町	現在、妊婦健診14回、産婦健診1回、乳児検診2回を実施しています。
47 東浦町	妊産婦の無料検診は、平成19年度より産後1回、平成21年度より産前14回に増やし実施しております。

市町村名		「初回の健診も含め、産前14回、産後1回を無料で受けられるように助成を」の回答
48	南知多町	平成21年度から妊婦健康診査を14回、産婦健康診査を1回無料で実施している。
49	美浜町	契約している内容については、無料で受診できるよう助成している。
50	武豊町	昨年度から引き続き、県内の医療機関において、無料で受診できる妊産婦健康診査受診票を14枚、産婦健康診査を1枚交付しています。また、里帰り出産などで県外へ行かれる妊産婦への対応として、償還払い制度を実施しています。
51	幸田町	平成21年度から産前14回の公費負担をしています。産後検診については、県下、近隣市町の状況を踏まえて検討したいと思います。
52	設楽町	現行では、産前14回のみ無料で受けられるようにしています。産後の無料化については現在のところ予定していません。
53	東栄町	産前14回を無料化しております。出産準備金として、5万円の助成制度を設けております。
54	豊根村	産前の健診14回、産後1回の健診は、無料としています。